

新型インフルエンザで学校が休みになったら
- 学校の時間割通り、家でも過ごそう -

開倫塾
塾長 林 明夫

1. 新型インフルエンザで学校が休みになったら - 学校の時間割通り、家でも過ごそう -

(1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

厚生労働省から、新型インフルエンザが10月中旬頃に大流行するだろうという発表がありました。いろいろな対策を講じて、感染しないようにしていただきたいと思います。

(2)一番大切なことは、感染したと思われる方は必ず病院に行くことです。そして、適切な処置を受けることです。学校や人込みの中には決して行かないようにくれぐれもお願いいたします。病院や家庭で、お医者さんの指示に従って安静にしてください。

(3)新型インフルエンザに罹らないようにするためにはどうしたらよいかお話しします。外出先から帰宅したら、手洗いとうがいを徹底的に行ってください。マスクの効用についてはいろいろ言われていますが、人込みの中に出かけるときはできる限り着用したほうがよいと思います。また、自分に咳の症状が出ているときは、他の方にうつさないようにマスクをつけることが大事であると思いますので、積極的な着用をお勧めします。

(4)開倫塾では、9月1日から46校舎すべての入り口に消毒液を置きました。手を消毒してから中に入ってください。また、全塾生の皆さんと先生方にはマスクを着用して授業に臨んでいただいています。もちろん事務職員も全員がマスクを着用し、全校舎挙げて感染予防に努めています。

(5)感染が広がると、休校になる学校も出てくると思います。感染した方は病院に行き、お医者さんの指示に従って回復に努めてください。感染せずに済んで元気な方は、学校と同じスケジュールで家で過ごすのが一番よいと思います。いつもと同じ時間に起床し、同じ時間に朝食を食べ、学校で1時間目の授業が始まる時間にはその準備をして同じ科目を勉強する。休み時間になったら休憩をとり、給食の時間には昼食を食べる。このように、学校の時間割と同じように1日を過ごし、同じ科目の勉強をする。これが最も望ましい過ごし方ではないかと思います。

(6)どのように勉強したらよいかについても少しお話をします。学校で使用している教科書、ノート、副教材を用意して、学校の授業を受けるようなつもりでゆっくりゆっくり今までの復習をするのもよいでしょうし、得意な科目は予習をするのもよいでしょう。つまり、教科書を中心に学校のノートや副読本、参考書などを利用して勉強を進めるのが一番よい方法だと思います。

(7)インフルエンザの流行に限らず、これから先学校や学級がお休みになることがあるかもしれません。その時にはぜひ、今お話したように過ごしていただきたいと思います。特に勉強に関しては、その日の時間割通りの科目をその順番でやっていくことをお勧めします。

(8)自分で自分を律する、つまりコントロールすることはよい勉強ですので、例えば、インフルエンザの流行などのために休校になった場合にはそれを実践していただきたいと思います。休みになったからと繁華街やカラオケなどに出かけ、そこで時間を過ごすなどということのないようにくれぐれもお願いいたします。

2.(1)ところで、8月30日(日)に総選挙が行われ、民主党が300議席以上を獲得しました。日本国民の有権者によって政権交代が選択されたわけですから。そのことについて少しお話をさせていただきます。

(2)私は、新しい政権に、そのマニフェストに掲げた一項目一項目を着実に実行することによって国民の信託に応えることを希望します。

(3)一番大事なことは、行財政改革の徹底による無駄・ムラの排除です。それにより財源を確保して、子育て支援や高速道路の無料化など民主党が掲げた政策を実行していただきたいと思います。

(4)一方で、財源の確保が思うようにできないと国債の発行となり、国が借金をすることになります。今でもGDP(国内総生産)の2倍近くの国家の債務(国債)があります。これは、OECD諸国の中で最も多いほうです。日本の次にくるイタリアの債務は、同国のGDPの1.数倍ですので、日本は他国に比べかけ離れた債務を持っていることがわかります。

(5)消費税を上げずにいて、なおかつ財源が確保できずにいるとどのようなことになるかといいますと、国としての国際的な信用を下げてしまいます。国の国際的な評価が下がるということは、国債の残高が非常に増え、例えばGDPの2倍以上、あるいは3倍近くになることも有り得るということです。3倍近くになるとますます国際的な信用が下がり、円安(通貨としての円が安くなる)になってしまいます。石油や食料などを輸入するときにはお金がかかりますから、物価が上がり、最終的にはハイパーインフレ(物価の急騰)が予想されます。すると、国家破産や自治体破産も考えられ、大変なことになってしまいます。

(6)ですから、マニフェストに掲げた行財政改革、例えば天下りを絶対に禁止する、各省庁にトップ100名の国会議員を送り込んで大行政改革を行うなどを必ず実行していただきたいと思います。

(7)言いにくいことですが、最終的には消費税を上げないとこれらを切り抜けることはほとんど不可能と考えられます。マニフェストには明示されていませんが、消費税についてもよく考えて、ハイパーインフレ、ひいては国家破産にならないように国を運営していただきたいと思います。

(8)皆様はどのようにお考えでしょうか。

- 2009年9月5日 -